

西松建設まちづくり基金

まちづくり助成 募集要項

第一期

事業期間： 2015年12月1日から2016年2月29日まで
助成予定： 10万円×10団体
申請締切： 2015年10月31日（消印有効）

第二期

事業期間： 2016年3月1日から2016年7月31日まで
助成予定： 10万円×5団体 / 50万円×2団体
申請締切： 2016年1月31日（消印有効）

西松建設株式会社は、2014年より、東日本大震災にかかる復興支援事業、並びにCSR事業の一環として、宮城県名取市において地域づくりに取り組む市民の活動を支援する取組みを開始しています。これらは、東日本大震災にて甚大な被害を受けた名取市において、市民が主体となる復興の推進に向けて、名取市内の多様なアクターによるまちづくりの取組みを支援し、アクター同士の協働や連携を促進するものです。具体的には、2018年までの5年間を通じて、1) まちづくりの未来を担うリーダー育成、2) 地域の課題の整理、地域の未来づくり、プロジェクトづくりの講座、3) まちづくり活動に対する資金助成を行っていきます。

この募集要項でご案内する「西松建設まちづくり基金 まちづくり助成」は、市民の皆さん自らが考える「地域の暮らしと生活環境をより良くする取組み」に資金助成をし、皆さんの活動や多様なアクター同士の連携を後押しするものです。

名取市の皆さんおひとりおひとりが考えるまちづくりのアイデアをぜひお寄せください。

2015年9月

西松建設まちづくり基金・事務局
特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
一般社団法人 みやぎ連携復興センター
公益財団法人 地域創造基金さなぶり

助成の対象となる活動

対象地域： 宮城県名取市内で行われる活動

対象期間： **第1期** 2015年12月1日から2016年2月29日までに実施、終了するもの

第2期 2016年3月1日から2016年7月31日までに実施、終了するもの

活動対象： 名取市内で取り込まれる「より良いまちづくりとコミュニティの関係や連携を更に強めていく」非営利の活動

◆対象活動例◆

- 1) 地域の合意形成に向けた勉強会・講演会の実施
- 2) 地域住民や特定地域の個人ニーズ（概ね中学生以上）の収集と、実践活動
- 3) 地域の多様な人々が参加可能なお祭りなどのイベントの開催
- 4) 地域の住民があつまる場（お茶っ子やサロン）等の実施
- 5) 高校生や若者が地域において活動するもの
- 6) 仮設住宅や災害公営住宅内におけるつながりづくりなどの各種イベントの開催
- 7) 災害公営住宅等、被災された方々の新たな移転を受け入れる地域での取り組み
- 8) 災害公営住宅集会所や地域内に新たにつくられる拠点等の備品整備

◆対象外の活動◆

- 1) 個人を対象とした活動 ※ 地域づくりが主眼の助成です。
- 2) 1～2年程度の継続した活用が見込めない物品や什器や設備等の購入や設置
- 3) 仮設住宅等の個別住居部、共用部等、施設、設備等の改修・修繕など
- 4) 機材や物資の購入のみの活動 ※ 購入した資器材を用いるイベントや活動は対象とする。
(例：ガスコンロや鍋等の調理器具の購入＋食事会の実施)
- 5) 学術的研究・調査活動、政策提言活動
- 6) 政治・宗教活動
- 7) 反社会的勢力が関与している活動
- 8) 寄付、基金の創設や充当

助成の対象となる団体

名取市内で定期的に活動を行おうとするグループ・団体等

- 1) 地元住民5名以上のボランティア・グループ
- 2) 仮設住宅団地や災害公営住宅の自治会等
- 3) 自治会や町内会等（仮設住宅団地、災害公営住宅の立地する地域の自治会を含む）
- 4) まちづくり協議会などの地域自治組織
- 5) 高校生や若者が中心となって活動するグループ
- 6) PTAや地域のまちづくり等のために活動するグループ
- 7) 市民活動団体（任意団体含む）、特定非営利活動法人、一般社団法人等

8) 1～7に該当し、報告書の提出と資金の管理ができる組織

※ 資金の管理：入金と出金の記帳、及び領収書の保存・管理ができること

備考 1) 名取市外に拠点を置く団体からの申請も受け付けますが、事業費に占める交通費の比率が高くなる点、活動の継続性、並びに名取市内の取組みの活性化を重視する観点から、名取市内に拠点を置く事業を優先することがあります。また、助成金額の設定に関連して、年間予算が小規模である組織が優先されることがあります。

備考 2) 第1期で助成を受けている団体が第2期も申請を希望する場合、申請書は受け付けます。但し、特別な状況など助成事業の内容にもよりますが、原則として助成を受けていない事業を優先して採択する予定です。概ね、第2期のBコースのほうが倍率は高くなることが想定されますので、その点ご注意ください。なお、各期において、同じ団体から複数の申請を頂いても、同時に採択になることはありません。

助成期間

第1期 2015年12月1日から2016年2月29日まで

第2期 2016年3月1日から2016年7月31日まで

※この期間に実施される取組み、並びに発生する経費について助成金を充当することが出来ます。

助成金額

実施する活動の規模や回数により、AコースとBコースのいずれかを選んで申請してください。なお、第1期はAコースのみの募集になりますのでご注意ください。

	Aコース	Bコース
第1期 1団体あたりの上限金額と 採択予定件数	10万円 × 10件	
第2期 1団体あたりの上限金額と採 択予定件数	10万円 × 5件	50万円 × 2件
対象となる費用の例	外部講師謝金、印刷製本費、旅費交通費、会議費、研修費、 広報費、食材・材料費、活動に必要な資材の購入費など	
申請団体の構成員・職員への 報酬（人件費）の上限	2万円	10万円

申請方法

申請にあたっては、**5 ページからの申請書記入例を参考に**申請書を作成のうえ、応募書類一式とともに事務局あてにお送りください。事務局への直接の持参による応募は受け付けておりません。必要書類のデータは、以下のウェブサイトからダウンロードできます。

公益財団法人地域創造基金さなぶり URL <http://www.sanaburifund.org>

※トップページから「申請をする」をクリック

▶ 応募受付締切

第1期 2015年10月31日（土）消印有効 / 第2期 2016年1月31日（日）消印有効

▶ 必要書類

1. 申請書一式（指定様式：申請書、予算書、メンバー表、代表者略歴）
2. 活動報告書
3. チラシやパンフレット等活動がわかるもの
4. 規約や定款など（あれば）

助成に係るスケジュール

【助成決定】

審査員による審査会をへて採否を決定し、第1期は11月下旬に、第2期は2月下旬に各団体に電話・文書にて通知します。

【助成金の支払】

活動の実施に関する覚書を締結の上、指定の口座にお振込致します。

【活動開始】

第1期は2015年12月1日以降の、第2期は2016年3月1日以降の活動開始（助成金を充当した活動）が可能です。

【報告書の提出】

活動終了後2週間以内に、所定の様式に基づいた報告書（簡易な会計報告を含む）と活動の様子が分かる写真（画像データ）をご提出いただきます。領収書は適切に保管・管理をお願いします。

申請書の提出先／お問い合わせ先

西松建設まちづくり基金 まちづくり助成 事務局

公益財団法人地域創造基金さなぶり

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 1-2-23 桜大町ビル 303

TEL : 022-748-7283 FAX : 022-748-7284 E-mail : nf@sanaburifund.org

お問い合わせ：月曜日～金曜日（祝祭日を除く） 9：30～18：30 担当：川村・鈴木

【 記 載 例 】

西松建設まちづくり基金 まちづくり助成
申請書・予算書

団体名 _____
代表者名 _____ 印

申請団体概要

団体名	ふりがな		
法人格	無・NPO 法人・NPO 法人申請中・社団法人・その他 ()		
設立年月	年 月 設立	法人格取得	年
所在地	〒		
電話/FAX	TEL	FAX	
Eメール			
ホームページ			
団体代表者	役職名：	氏名：	
事務連絡担当者	役職名：	氏名：	
事務連絡先	〒		
	TEL	Eメール	
振込口座	金融機関名		支店名
	口座番号	普通・当座	
	口座名義	ふりがな	

団体の活動目的

(団体は、どの地域に、どのようなことを実現させるために活動を開始しましたか？
また、どのような課題や困りごとに対応しようとしたのでしょうか？)

団体のこれまでの取組み・活動（震災後の対応も含む）

(団体として、これまでどんな取組みや活動をしてきましたか？
可能な範囲で結構ですので、時期や地域や場所、開催事業名、参加者がいる場合には、その人数規模を添えて記載してください。)

申請活動

活動名	(活動に簡単な名称をつけてください。)		
活動期間	2015年 月 日～ 月 日 (申請活動の実施期間を記載してください。)	申請 金額	万円 (単位万円)
活動地域	宮城県名取市 市内全域・ _____ 地区・ _____ 地区・ _____ 地区 _____ 仮設住宅団地 _____ 災害公営住宅 (名取市の、どの地域や仮設住宅、或いは災害公営住宅を対象に行うか記載してください。未定の場合は、未定などと記載してください。)		
対象者と 想定人数	(どのような人を対象に行いますか? 「〇〇仮設住宅の入居者、〇〇地区に住んでいる地域の住民の皆さんなど」。また、その際の想定される人数規模はどれくらいでしょうか?)		
活動背景や 活動の経緯	(今回の活動を、なぜ行おうと考えましたか? その理由、きっかけ、経緯などどのようなものでしょうか? 可能な範囲で具体的にお書きください。)		
活動目的	(今回の活動を通じて、どんなことを実現させたいですか? 何を生み出したいですか? この活動の目的をお書きください。)		
活動内容	(前項の目的を達成するために、どんな活動を予定していますか? いつごろ、どんな場所で、誰を対象に、どれくらいの規模で、何を実施するのでしょうか? 申請時点の予定・想定で結構ですので、出来るだけ具体的にお書きください。)		
活動実施協力者	役職	団体名	
(氏名)	(役職)	(所属団体) 外部の団体の方を記載。	
△△ △△	事務局長	NPO 法人△△	
〇〇 〇〇〇	相談員	〇〇市社会福祉協議会	

予算

費目	詳細	金額	助成申請
謝金	ワークショップ講師 1 名 (3 時間) ×3 回	** ,000 円	○
交通費	○○⇄△△バス往復 (* ,000 円) ×3 回	** ,000 円	
会場借上費	*000 円/h×3 時間×3 回	** ,000 円	
消耗品費	コピー用紙、文房具など	** ,000 円	○
茶菓子代	茶菓子、飲み物 (10 名分) ×7 回	** ,000 円	
食材費	イベント食材費 *00 円×30 名×2 回	** ,000 円	○
合計		75,000 円	

※助成申請...総予算のうち、助成金に申請したい費目・金額に○をつけてください。

収入内訳	助成金	60,000 円
	参加費	12,000 円
	自己資金等	3,000 円
合計 (予算合計と同額)		75,000 円

申請団体メンバー表 (該当する A 又は B どちらかにご記入下さい。)

A : 5 人以上の住民グループ等

申請主体が、役員等を定めた団体・組織になっていない場合は、本申請事業に携わる主要なメンバーを 5 名以上ご記入ください。

役割・役職	氏名	住所 (番地不要)
代表	○○ ○○	名取市××
会計担当	▲▲ ▲▲	名取市□□
メンバー	□□ □□□	名取市○○○
メンバー	□□ □□□	名取市○○○
メンバー	□□ □□□	岩沼市○○○
メンバー	□□ □□□	仙台市○○○

※住所はどの様な方が関わっているかを確認するためのもので、詳細な番地は不要です。

B：その他地縁組織、任意団体や法人等

法人格の有無をとわず、申請主体が役員等を定めた団体・組織になっている場合には、以下に役員名をご記入下さい。

役職	氏名	他所属等
代表理事	〇〇 〇〇	
理事	▲▲ ▲▲	
理事	▲▲ ▲▲	
理事	▲▲ ▲▲	
監事	□□ □□□	

※必要であれば、行を追加して記入してください。他所属の欄は無ければ空欄で構いません。

代 表 者 略 歴

氏 名： 〇〇 〇〇

生 年：

現在の所属・役職：

※複数あればそれもあわせて

A) 主な職歴

19**年～20**年 〇〇〇〇〇勤務

20**年～20**年 〇〇〇〇〇勤務

20**年～20**年 〇〇〇〇〇勤務

現在に至る

B) 現在の団体の活動に関する学歴・資格等 ※任意

19**年 〇〇〇〇〇免許取得

C) その他、特記事項

今回の申請事業に関して、追加的に記載することがありましたらご自由にお書きください。